

単元名 表現「わたしたちの地球」

1 運動の特性

〔一般的特性〕
自己の心身を解き放して、イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動である。

〔児童から見た特性〕
仲間と交流しながら、表したい感じを即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることが楽しい運動である。

2 単元の目標

学びに向かう力、人間性等

表現することに積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ることができるようにする。



知識及び技能

いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。

思考力、判断力、表現力等

自己のグループの課題を見付け、その課題の解決の仕方を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりすることができるようにする。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学習活動における 具体的評価規準	①表現の行い方を理解しているとともに、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、ひと流れの動きで即興的に踊ることができる。 ②表したいイメージを強調するように、「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとまとまりの動きにして踊ることができる。	①イメージに合った動きを選んだり、構成を考えたりしている。 ②友達との交流から、自分やグループのよさを生かす動きを見つけている。	①表現運動に進んで取り組もうとしている。 ②約束を守り、友達と助け合って練習や発表、交流しようとしている。 ③場の安全を保持することに気を配っている。

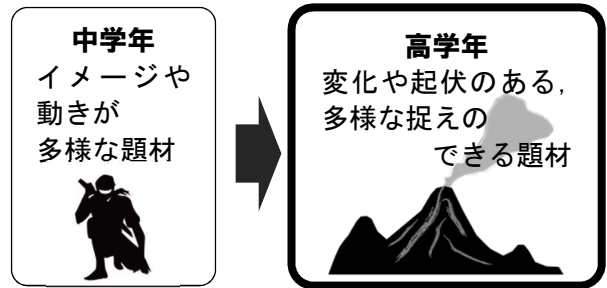
4 指導と評価の計画の例

		1	2	3	4	5	6				
		場の準備 ・ 準備運動 ・ ダンスウォーミングアップ ・ ねらいの確認									
10 20 30 40	オリエンテーション	学習の見通しをもつ ダンスウォーミングアップ 即興表現（カルタ等）	題材からいろいろなイメージを捉え、自由に踊って楽しむ。	題材別グループで表したい感じが強まるように工夫をし、簡単な作品を作って踊って楽しむ。			発表会をする ----- まとめ				
								整理運動 ・ 学習のまとめ ・ 次時の確認			
	知							①	①	②	
	思								①	① ②	②
	主	①	② ③	②	②						

5 指導の工夫

〔題材の工夫〕

学年の適時性を踏まえ、児童たちが「やりたい」「面白そうだ」という気持ちで学習に向かう、内発的動機が大切である必要があります。それをふまえて題材を設定していくとよい。



＜内容選択の視点＞

- ・児童のやりたいもの ⇒ 興味・関心がある、生活体験、感動や創造力のわくもの
- ・イメージと動きの関係がつかみやすいもの ⇒ 動きの特徴がつかみやすく、見通しが立つもの
- ・多様な捉え方ができて発展性のあるもの ⇒ 多様な捉え方や工夫から個性が生かせるもの

【題材の例】

「激しい感じの題材」…生活や自然などから「激しく〇〇する」（バーゲンセール、火山の爆発、大型台風接近など）や「急に〇〇する」（ロボットが壊れた、竜巻発生、怒りの爆発など）などの変化や起伏のある動きを含む題材



「集団が生きる題材」…生活や社会、自然などから「祭り」「スポーツの攻防」「出口を探せ！」などの特徴的な群の動きや迫力を生かせる題材

「多様な題材」…「わたしたちの地球」「ニュース〇〇」「〇月×日、私のダイアリー」など、社会や生活のいろいろな印象的な出来事から個人やグループで選んだ関心のある題材

6 単元づくりのポイント

○ “意欲” と “チームワーク”

表現運動の楽しさを十分に味わうには“意欲”と“チームワーク”が不可欠であり、児童自身が没入でき、互いのよさを生かし合って仲間と交流する楽しさを味わえる単元づくりをしていくことが大切である。動きの共有を通してチームワークを築いていくことができるのも表現運動ならではの点である。

意欲を高めていく単元タイトル

「開け！ 地球のトビラ」
「〇〇小 花鳥風月」

発表会の設定

- ・学級／学年発表会
- ・異学年との交流発表会

他教科との関連

- ・総合的な学習の時間のテーマや他教科と関連させて

〔運動の苦手な児童・配慮が必要な児童への手立て〕

仲間の前で表現を行うことに意欲的に取り組めない児童には、授業の導入で、仲間の動きを模倣しながらへそ（体幹部）を中心に軽快なリズムに乗って踊る活動を取り入れ、心と体をほぐすなどの配慮をする。

表したい感じやイメージを表現することに意欲的に取り組めない児童には、取り上げる題材を、クラス共通の題材だけでなく、個人やグループの関心や能力の違いに応じて選ぶようにするなどの配慮をしていく。

ひと流れの動きにすることが苦手な児童には、表したい感じやイメージから捉えた変化とメリハリ（緩急・強弱）のある動きを、教師や仲間のリードで幾つか一緒に踊ってみるなどの配慮をしていく。



おへその動きを大事にするよ！



高 学 年
表 現 運 動

単 元 名 : 表 現 「わたしたちの地球」

目 標 : 学習の仕方を理解し,自分のねらいをもつことができるようにする。

道 す じ	1	2	3	4	5	6
-------	----------	----------	----------	----------	----------	----------


時間	学習内容と活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)	用具・資料
0	<p>1 オリエンテーションを行う。</p> <p>学習の進め方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の道すじを知る。 ・安全に学習するための約束を理解する。 ・学習カードの使い方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が学習の流れや場の設定がわかるように資料を用意する。 ○グループを使って学習を進める場合は,人間関係などを考慮してグループを編成する。 	<p>学習の道すじ (拡大図)</p>
5	<p>2 資料 (写真・図鑑・映像など) を見ながらイメージバスケットをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 100px; margin: 10px auto; text-align: center; border-radius: 50%;"> <p>わたしたちの地球</p> </div> <p><テーマの例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球のたんじょう ・地球の歴史 ・タイムトラベル ・絶滅と誕生 など 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を見ながら地球に起こったいろいろな現象の「特徴」や「感じ」を捉えさせる。 ○いろいろな現象が起きたときの音や雰囲気,気持ちなどを言葉や絵で自由に紙に書かせる。 ○個人のイメージをテーマ別に分け視覚化する。 ○すぐに書くのが難しい実態がある場合は, 事前に書く時間を与えて,意欲をもって取り組めるようにする。 	<p>イメージバスケット (個人用・学級用)</p> <p>筆記用具</p> <p>資料</p>
25	<p>3 ウォーミングアップをしながら動きづくりをする。(準備運動)</p> <p>①ダンスウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なリズムの音楽で (ロック,サンバ,ヒップホップなど) ・教師の動きを真似しながら (円形等) <p>②即興表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞紙を使って⇒新聞紙になりきる (教師が新聞紙を動かす/児童同士で) 	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体がほぐれるように,アップテンポの曲に合わせて踊る, ⇒体全体を使って大きく動いたり,手拍子や弾む・回る・スキップする等の動きを繰り返したりして楽しく踊るようにする。 ○恥ずかしいと感じる児童もいるので,無理強いせず,なるべく多くほめるように心がける。 <p>☆いろいろな題材の特徴を捉え,即興的に踊ることができる。</p> <p style="text-align: right;">【知識・技能】</p>	
40	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り,学習カードを記入する。 ・整理運動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○次時の見通しをもつ。 	<p>学習カード</p>

高 学 年
表 現 運 動

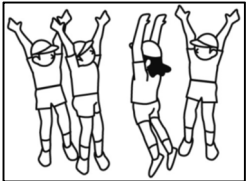
単 元 名 : 表 現 「わたしたちの地球」

目 標 : わたしたちの地球の特徴的なイメージを即興的に表現することができるようにする。


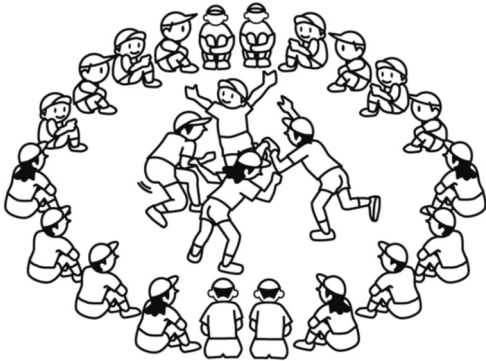
道 す じ	1	2	3	4	5	6
-------	---	---	---	---	---	---

時間	学習内容と活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)	用具・資料
0	<p>1 心と体のウォーミングアップをする。</p> <p>①ダンスウォーミングアップ(準備運動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロック, サンバ, ヒップホップなど ・教師の真似をしながら1~2曲踊る。 <p>②ミラーストレッチ, 新聞紙になってみよう, 体じゃんけんなどをペアで行う。</p>	<p>○心と体がほぐれるように, アップテンポの曲に合わせて踊る。</p> <p>⇒自然と掛け声が出るような曲などを選ぶと意欲が高まる。</p> <p>⇒幻想的な曲も混ぜることで, 動きに変化が現れる。</p> <p>○ペアで行うことが難しい児童がいる場合は, 3人組などにしてもよい。</p>	CD アンプ
10	<p>2 学習のねらいを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>わたしたちの地球についてイメージを広げ, 即興表現で自由に踊って楽しもう。</p> </div>		
15	<p>3 テーマに従って思いつくまま次々と踊って楽しむ。</p> <p>①イメージカルタを使って, 2人で思いつくまま次々と自由に踊る。</p> <p>＜共通のテーマ＞</p> <p>例: 生命の誕生と絶滅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海から生まれる生命 ・地球温暖化 ・氷河期によって苦しむ生物 ・隕石の衝突で荒れ狂う大地 ・枯れた大地に雨が降り新たな植物が芽生える など <p>②一番気に入ったイメージを選び, 同じイメージを選んだ友達同士で互いの動きを見せあう。</p>	<p>○イメージバスケットを踏まえて作成したカード(イメージカルタ)をめくり, 思いつくままに体を動かしてみる。</p> <p>○イメージがしっかり表現できるように動きは数回繰り返すよう促す。</p> <p>○イメージをすぐ動きに変えることのできない児童には, 友達の動きを真似てよいことを助言する。</p>	イメージバスケット イメージカルタ
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>『イメージカルタ』 後述『資料』参照</p> </div> <p>○発表的ではなく, 連続的に一人の動きを真似するように見せ合う。</p> <p>○一通り見せ合ったら, 相手の動きのよいところを見付け伝え合う。</p> <p>☆イメージに合った動きを選んだり, 構成を考えたりしている。</p> <p style="text-align: center;">【思考・判断・表現】</p>	
40	<p>4 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに評価を記入する。 ・整理運動をする。 	<p>○次時の見通しをもつ。</p> <p>○どのイメージが気に入ったかを明確にしておき, 作品づくりに生かせるようにする。</p>	学習カード

高 学 年	単 元 名 : 表 現 「わたしたちの地球」						
	目 標 : イメージ別グループで表したい動きを工夫し,簡単なひとまとまりの動きを作って踊ることができるようにする。						
表 現 運 動	道 す じ	1	2	3	4	5	6

時間	学習内容と活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)	用具・資料
0	1 心と体のウォーミングアップをする。 ①ダンスウォーミングアップ(準備運動) ・ロック, サンバ, ヒップホップなど ・教師の真似をしながら1~2曲踊る。 ②ミラーストレッチ, 新聞紙になってみよう, 体じゃんけんなどをペアになって行う。	○心と体がほぐれるように, アップテンポの曲に合わせて踊る。 ○ペアで行うことが難しい児童がいる場合は, 3人組などにしてもよい。 ○児童たちが踊りたい曲のリクエストに応じていくと意欲の向上につながっていく。	CD アンプ
10	2 学習のねらいを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> イメージ別グループで表したい感じが強まるように動きを工夫し, 簡単なひとまとまりの動きをつくって踊って楽しもう。 </div>		
15	3 表したいイメージ別グループをつくって踊る。 ①前時までの学習で気に入ったイメージや動きを思い出しながら自由に踊る。 ②イメージ別グループで一番表現したい感じを強めるための工夫をして踊る。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 色々な動き方の例 ・走る-止まる ・走る-跳ぶ ・走る-跳ぶ-回る ・のびる-縮む ・集まる-離れる </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 40px;">はじめ</div> <div style="margin: 0 10px;">➡</div>  <div style="margin: 0 10px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; width: 40px;">おわり</div> </div> <p style="text-align: center; margin: 5px 0;">一番表したいイメージ (なか)</p> ③他のグループとペアになって見せ合い, よいところを教え合う。 ④アドバイスを生かして踊る。	○前時までの学習の中で, 気に入ったイメージごとにグループづくりをする。 ○グループ内で踊りながら共通のイメージを作っていくよう促す。 ○表したいイメージを簡単な群れの動きで踊るよう助言する。 ・集まる (かたまる) ⇔ 離れる ・そろえて⇔自由に ・いろんな方向に⇔同じ方向に ○表したいイメージが強調されるように「はじめ-なか-おわり」をつけた簡単なひとまとまりの群れの動きになるようにする。 ○こまめに見合うようにし, 作り込みすぎにならないようにする。 ☆友達との交流から, 自分やグループのよさを生かす動きを見つけている。 【思考・判断・表現】	イメージ バスケット イメージ カルタ
40	4 学習のまとめをする。 ・学習カードに本時の振り返りをする。 ・整理運動をする。	☆表したいイメージを強調するよ うに, 簡単なひとまとまりの動きにして踊ることができる。 【知識・技能】	学習カード

高 学 年	単 元 名 : 表 現 「わたしたちの地球」						
	目 標 : イメージ別グループで表したい動きを工夫した踊りを見せ合って楽しむことができるようにする。						
表 現 運 動	道 す じ	1	2	3	4	5	6

時間	学習内容と活動	指導・支援 (○) 評価 (☆)	用具・資料
0 10	<p>1 心と体のウォーミングアップをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ダンスウォーミングアップ(準備運動) ・ロック, サンバ, ヒップホップなど ・教師の真似をしながら1~2曲踊る。 <p>2 学習のねらいを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○心と体がほぐれるように, アップテンポの曲に合わせて踊る。 ○単元の終末段階なのでダンスに関しても心を開放できるよう声掛けをする。 	CD アンプ
<p>イメージ別グループで表したい感じが強まるように工夫した動きを, 互いに見せ合い, 踊り合って楽しもう。(発表会)</p>			
15	<p>3 表したいイメージ別グループをつくって踊る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で, 見る人と踊る人に分かれ, 役割を交代しながら個及び全体の動きを確かにしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○グループの動きにはじめーなかーおわりの流れができているかを確認する。 ○あくまで個による表現なので, 役割分担になっていないかを確認する (木の役, 鳥の役など)。 ☆約束を守り, 友達と助け合って練習や発表, 交流をしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】 	
25	<p>4 全体で発表会をする。</p> <p><発表会の例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで囲み, 順番に中心で踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループのよかったところをメッセージカードに記入する。 ○すごいなと思った動きなどについて感想を伝え合う。 ⇒よい動きがあった場合は全員でその場でやってみる。 ☆友達との交流から, 自分やグループのよさを生かす動きを見つけている。 【思考・判断・表現】 	CD テーマに合ったBGMをかける
40	<p>5 学習カードを記入して, 単元全体をふり返り, 整理運動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を学習カードに記入する。 		学習カード

【資料】

ウォーミングアップ（準備運動）の例

○ダンスウォーミングアップ

恥ずかしがらずになりきって踊るために、心と体を解放するウォーミングアップを工夫することが重要になってくる。円形コミュニケーションのようなアップテンポの楽しい感じのものと、「ミラーの動き」や「割り箸を使って」のようなデリケートで個性的な動きを体感させるものを組み合わせて行うとよい。

リズム ⇒ 動きとつながるもの

- ・軽く、リズムカルな音楽
- ・ロックのリズム（縦のり）
- ・ヒップホップ（裏打ち）
- ・サンバ（ステップ・横のり）
- ・速い⇄ゆったり
- ・激しい⇄おだやか



踊り方 ⇒ 常に誰かと見合いながら楽しめるように

- ・ミラーの動き…互いに向き合い、鏡のように動く
- ・円形…互いの動きを見ながら
わからなくても真似できる
- ・真似っこ…交替制のリーダーの真似をして動く。
- ・割り箸を使って…互いの人差し指で割り箸を挟み、落とさないよう動く。

イメージカルタ

イメージバスケットの中から動きにつながりやすい言葉を教師が選び、絵をつけて一枚のカルタにする。20～40枚あると学習しやすい。その時間の中では終わらないので、児童に作らせる場合は、教科横断的に捉えて他教科（図工等）で作成したり、朝の学習の時間などを利用したりする。



- ・イメージしやすいイラストなどを入れるとよい。
- ・擬音語、擬態語などもイメージが膨らみやすい。
- ・ラミネートをかけてしまうと、体育館の床に置いたときにめくりにくいことがある。

4つのくずし

表現運動では“見合う活動”“見せ合う活動”が意欲の向上、互いのよさの認め合いの上で重要になる。さらに、その中でイメージを深め、動きの財産を増やしていくことができる。そのためには“見合う活動”がしっかりとできるようになることが大切となってくる。互いに見合う視点として、『4つのくずし』を意識するように助言していくと、高まりや深まりが生まれる。

【4つのくずし】

- ・空間のくずし : 踊る方向や場を変化させ、同じ場所だけでなく場を広く使って踊る
- ・体のくずし : ねじったり、回ったり、跳んだりなどの体の状態をはっきり変える。
⇒ “へその位置が動いているか” “へそがいろんな方向を向いているか”
- ・リズムのくずし : すばやく、ゆっくり、急に止める、などの動きのリズムを変化させる。
- ・人間関係のくずし : 離れたり、くっついたり、絡んだり、いろいろな友達とかかわり合いながら踊る。
⇒ 計画的ではなく、偶発的なほどよい。

表現～わたしたちの地球～

ねらい① いろいろなイメージを,思いっくまま自由に踊って楽しむ。
 ねらい② 一番表したいイメージを見つけ,工夫して踊って楽しむ。

この学習が終わった時に目指す姿は？

☆よりよい動きのポイント

- ①体を大きく (つま先から髪の毛。ねじり。おへそが動く) ②空間を広く (上に,下に,体育館いっぱい)
- ③リズム・速さ (ゆっくり・速い・ストップ) ④人とかかわる (くっつく,はなれる,タイミング)

年 組 名前

日付	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()	月 日()
ね ら い	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント	自分の表したいイメージ	自分の表したいイメージ	自分の表したいイメージ
	今日のペア	今日のペア	今日のペア	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント	今日の課題 ①体を大きく ②空間を広く ③リズム・速さ ④人とかかわる ポイント
	お気に入りのカルタ	お気に入りのカルタ	お気に入りのカルタ			
◎○△	今日の振り返り	今日の振り返り	今日の振り返り	今日の振り返り	今日の振り返り	今日の振り返り
楽しく できた						
進んで 運動						
ルール マナー						
友達と 一緒に						
動き イメージ						
動き ポイント						
満足度						
表現の学習のまとめ						

